

令和6年度第3回青梅市文化財保護審議会会議録

日 時

令和7年3月24日（月） 午後2時00分～午後4時20分

会 場

青梅市役所2階206会議室

出席者

（委 員）

馬場会長、山本副会長、沖川委員、保坂委員、久保田委員、
三戸委員、守田委員、須崎委員、高久委員

（事務局）

橋本教育長、森田部長、北村課長、小峯係長、高野主任、
阿部主任

欠席者

（委 員）

西村委員

開会（事務局）

1 教育長あいさつ

2 報告事項

(1) 指定文化財の現状変更等について

事務局から、市指定史跡藤橋城跡および市指定史跡今井城跡の現状
変更等について説明。

質疑・応答・意見

【委 員】 伐採した樹木の本数はそれぞれ何本か。

【事務局】 今井城跡は15本、藤橋城跡は1本伐採した。

【委 員】 ナラ枯れは伐採の時期が重要なので、伐採する木の決め方
については検討した方がよい。

【事務局】 意見については参考にさせていただく。

【会 長】 緊急性を要する場合は事後報告でもよいが、事前に相談した

ほうがよい。

【事務局】 今後は相談しながら進めていきたい。

【委員】 今井城跡は巨木が多いので、遺構を破壊するのではないかと危惧した。枯れた樹木だけではなくて、巨木も含めた対応をとったほうがよいのではないかという印象をもっているが、いかがか。

【事務局】 今後、今井城跡の保存活用計画を検討した上で進めていきたい。

(2) 令和6年度指定文化財保存修理事業の進ちょく状況について

事務局から、都指定有形文化財旧吉野家住宅整備以下7件の修理事業について、進ちょく状況を説明。

質疑・応答・意見

【委員】 上成木高水山獅子舞の衣装修理の笹良用帯について、修理前と修理後の柄等が全く違うが、これは修理になるのか、それとも新調になるのか。

【事務局】 今回修理するにあたり、材質、色、柄は踏襲するよう条件を付けたが、結果として同じような柄等で復元することができなかった。

【委員】 無形民俗の道具などを修理する場合は、なるべく前の柄等をそのまま残す形ことが多いが、ここまで違う事例はあまりない。今回の場合は、修理ではなく新調になるので、修理事業に入れてよいのか、非常に曖昧である。

【会長】 配慮が必要だったのではないか。

【事務局】 無形民俗の場合、伝統行事だけでなく衣装もできる限り残していける形がよいのだが、保存会としては同じような柄を復元するところまでは厳しいということになり、今回はこういった結果になった。

【会長】 事例にもよるが事前に審議会に相談してほしい。

【委員】 無形民俗文化財の道具等を修理をする事例は多いと思う。その場合、有形民俗文化財に準じて考えるのが常識である。これが修理事業であると説明してはいけないと思うので検討し

てほしい。

【事務局】 検討させていただく。

(3) 令和7年度事業計画について

事務局から、令和7年度事業計画について報告。

質疑・応答・意見

【委員】 吉川英治記念館の展示事業について、吉川英治の少年少女小説向けの小説にスポットを当て、紹介するとなっているが、どのような観点で展示をするのか。具体的に説明してほしい。

【事務局】 吉川英治がデビューした大正時代から昭和15年ぐらいまでは少年少女向けに書いていた時期で、その中で書かれていた作品が残っていることから、吉川英治を知っていただいて興味をもっていただくという趣旨で展示を予定している。

【委員】 多くの人が足を運ぶような情報発信をしてほしい。

【事務局】 今までスポットを当ててこなかった資料や新規来館者の発掘という展示を企画していく。また、指定管理者と協議しながら、季節を感じさせるようなコーナー展示も実施したい。

【委員】 文学館は各地にあり、同時代の読者がだんだん少なくなり、同世代の読者層がいなくなった段階で、改めて吉川英治の資料を展示するには新たな視点や物の考え方を付け加えて、今の人たちに伝えるような努力が必要である。青梅市の財産として吉川英治の作品資料群を持っているので、うまく活用してほしい。

【事務局】 郷土博物館が休館になるので、展示活用場のひとつとなるのではないかと考えている。

【委員】 指定管理者を再募集した結果について伺いたい。

【事務局】 9月に募集した際に、展示事業も指定管理者が担うことを新たに募集要件に加えたところ応募がなかったため、その要件を見直し再募集したところ、応募があった。

【委員】 東京の千代田区にある日比谷図書館は、小学館が運営し活発なことを始めている。吉川英治の名前はもっと使えると思うので、いろいろ工夫されてはいかがか。

【事務局】他の指定管理制度を導入している施設では、行政と指定管理者と共存して運営しているが、本市の場合は、記念館に市の職員が常駐していないこともあり、展示事業などの役割分担について課題がある。

【委員】安楽寺仏像調査については、令和5年度の終わりに実施した報恩寺の二童子立像調査の時に同行していただいた研究者に協力していただけることになったので、新年度の早い時期に実施したい。

【事務局】承知した。

【会長】指定文化財修理事業の予算は、どのくらいか。

【事務局】馬場家御師住宅と武蔵御嶽神社については、約210万円の予算がついている。このほか、市の所有の旧吉野家住宅が約203万円、鈴法寺跡が約82万円である。

【会長】毎年同じくらいに予算をとっているのか。減少傾向になっているのか。

【事務局】補助件数や修理内容により予算は増減している。特に市指定文化財の補助事業が多い場合は、市が1/3の補助をするため、規模の大きい事業になると予算額が増加する。

【会長】予算上、落としたものはないのか。

【事務局】来年度予算に関してはない。

【委員】文化財関連講座について、令和5年度の続きの講座をやっていききたい。

【事務局】文化財関連講座について、来年度は早めに実施できるようにしたい。

(4) 郷土博物館の休館について

事務局から、郷土博物館の休館について報告。

質疑・応答・意見

【委員】来年度以降、しばらく休館になるということで、今まで忙しくてできなかった新規の事業、積極的な事業展開ができたらいい。いずれ新設される博物館に向けての準備期間と捉えて、その期間を歴史的公文書の整備、青梅であれば、旧役場文書

等の整備・把握。また将来的な閲覧公開を視野に入れながらの整備を進めるとか、あるいは近々の課題として、既にもう戦時中の話が90歳以上の方でないと聞けないという状況であるので、ラストチャンスと捉えて戦時中、戦後の日常生活などいろいろな方々が御健在のうちに積極的に聞き取り調査をやったほうが将来の青梅市の文化財のためにも必要なのではないか。

【事務局】 参考にさせていただく。

【委員】 内部組織である郷土博物館等あり方検討委員会は、市の職員だけで構成する委員会という意味なのか。これを外部を含めたものにすることはあり得ないのか。

【事務局】 郷土博物館の今後に向けてこれからどう進めていくのか、市としての考え方をまとめるため、内部で検討していく。市民を交えたワークショップ等を開催した先行事例もあるので、それは今後の課題と考えている。

【委員】 あり方検討委員会とあるが、あり方という部分を内部で一定の結論を出してしまってはもう遅いということが多い。あり方こそが外部の意見を入れて考えないといけないのではないか。

【事務局】 今後、博物館法の改正で博物館登録など、課題として残るので、そういったところを内部で議論することを最優先にして検討していく。

【委員】 今の課長の次の方が学芸員ではないと断っておられたが、やはりそういったところは、かなり大事な問題で、それもおそらく市民にとっても関係することだろうと思う。市がどう博物館を考えるかということが、その場合、やはり外部の意見を聞かないとはじまらないのではないか。

【事務局】 あり方検討委員会の内容については、随時、審議会にも報告し市の上層部へ説明していく。

【会長】 内部の組織であり方を検討して本当によいのだろうか。ぜひ考えていただきたい。あともうひとつ、50年前と今とでは博物館は全然違い、地域全体をまるごと博物館という考え方

もある。こういうものを展示したり研究したりするようなことを考えていくような仕組みを、この内部のあり方検討委員会ではとても出てこないと思っているので、審議会で意見聴取の機会を設けてほしい。

【事務局】今後、博物館については、事務室や展示、貴重な収蔵品の管理部分のあり方について、市の方針を固めていく必要がある。今後について、皆さんから意見をいただきながら、内部で検討し、進めていきたい。

【委員】収蔵資料の保存環境も含めて、検討する必要がある。

【事務局】参考にさせていただく。

(5) 旧野村家住宅(旧杉並区青梅寮)の国登録有形文化財への登録について

事務局から、旧野村家住宅(旧杉並区青梅寮)の国登録有形文化財への登録について報告。

質疑・応答・意見

【会長】これは明治の半ばの建物か。

【委員】『東京都の近代和風建築』には、明治22年から24年頃と書かれている。

【会長】当初は茅葺だったのか。

【委員】当初から茅葺ではない。

【会長】多摩地域は入母屋造が多い。

【委員】『青梅市の民家』によると、必ずしも入母屋しかないかという
と切妻みたいなものもある。柚木はどちらかということと沢井に
近いので、沢井地区の民家も調査したい。

(6) 休哲様の祠(足立休哲の墓石)の移設について

事務局から、休哲様の祠(足立休哲の墓石)の移設について報告

質疑・応答・意見

【会長】休哲様の画像を郷土博物館で展示しているが、どういったものか。

【事務局】休哲様の子孫の方から寄贈いただいたもので、それを展示し

ている。

【会 長】 今後、休哲様の画像と一緒に文化財指定しておくともよいかも
しれない。市の文化財に指定されている当時のことを記した
『谷合氏見聞録』にも休哲様のことが書かれているので、そ
ういう方向でも検討してほしい。

【事務局】 参考にさせていただく。

(7) その他

ア 令和6年度無形民俗文化財保存団体との意見交換会について
事務局から、令和6年度無形民俗文化財保存団体との意見交換会に
ついて報告。

質疑・応答・意見

【委 員】 郷土芸能祭は実施を検討しているということで、決定されて
いるわけではないということか。

【事務局】 具体的な内容については決定していない。実施を検討してい
るところである。

【委 員】 民俗芸能関係の公演は、準備等に1年くらいはかかると思わ
れる。また、民俗芸能の方たちも年齢層が上がっていること
や、民俗芸能を多くの方に披露することで活力にもなること
から、早めに実施してもらいたい。

【会 長】 民俗芸能をやってる人に聞くと、このような場がないと練習
もしないし、披露することで励みになり継続されていくと言
っているので、ぜひこの民俗芸能祭を実施してほしい。この
団体は市指定だけでなく、都指定も含めているのか。

【事務局】 この団体は市指定と都指定の無形民俗文化財の保存団体の連
合組織になる。

【会 長】 指定外も含んでいるのか。

【事務局】 指定のみである。

【委 員】 川崎市の民俗芸能大会というのが毎年3月に行なわれている
が、川崎市も実行委員会を立てて、各地区ごとに実行委員長
も立てる形式をとっている。また、八王子市や多摩市でも行
なっているので、逆にやってない市は少ない。よい例はある

と思うので、ぜひ実施してほしい。

【事務局】 実行委員会の組織体制も含め調査し、開催に向けて取り組んでいきたい。

【委員】 これは一般的な文化財の補助ではなく、こういったところからの補助になるか。

【事務局】 アーツカウンシル東京という東京都の芸術文化活動を支援する公益財団法人からの助成事業がある。

3 協議事項

(1) 指定文化財の指定候補等について

事務局から、指定文化財の指定候補等について説明。

質疑・応答・意見

【委員】 青梅電気鉄道文書の調査報告がここで完成し、近代文書が資料群として残っている。文化財として指定できると保存活用が進むのではないかと思うが、いかがか。

【会長】 近現代資料の文化財指定については、もう少し体系的に計画的に考えていく必要があるのではないか。

【事務局】 今後の検討課題とさせていただく。

4 その他

質疑・応答・意見

特になし。

5 次回の開催について

【事務局】 6月から7月ごろを予定している。

閉会（事務局）